

問1 メソポタミア文明で、粘土板に葦（あし）のペンで刻まれた記録用の文字を何という？

1. ヒエログリフ                      2. くさび形文字                      3. フェニキア文字                      4. 甲骨文字

問2 メソポタミア文明で、粘土板に葦（あし）の茎を押し付けて刻んだ文字を何という？

1. 楔形文字                      2. ヒエログリフ                      3. フェニキア文字                      4. 甲骨文字

問3 殷で使われていた甲骨文字が原型になったとされる、現在の中国などで使われている文字体系を何という？

1. カタカナ                      2. ハングル                      3. 漢字                      4. ひらがな

問4 7世紀初めにメッカでイスラム教を開き、信者たちから預言者と仰がれる人物は誰？

1. ウスマーン                      2. ムハンマド                      3. ウマル                      4. アブー＝バクル

問5 メソポタミア文明で高度な数学的知識に基づき使われていた計算法を何という？

1. 20進法                      2. 12進法                      3. 60進法                      4. 10進法

問6 黄河流域で発展した中国文明において、祭祀などの目的でつくられた金属製の道具を何という？

1. 土器                      2. 青銅器                      3. 打製石器                      4. 磨製石器

問7 石を打ち砕いて作られた打製石器を用いた時代から、その後日本で使われるようになった土器を何という？

1. 縄文土器                      2. 弥生土器                      3. 土師器                      4. 須恵器

問8 ムハンマドが生まれ、イスラム教を広める拠点となった、現在のサウジアラビアにある都市を何という？

1. バグダード                      2. メッカ                      3. エルサレム                      4. メディナ

問9 古代のインダス文明において、都市の衛生環境を整えるために整備された施設を何という？

1. ピラミッド                      2. 下水道                      3. ジグurat                      4. 万里の長城

問10 古代エジプト文明の発展を支えた、毎年決まった時期に氾濫して肥沃な土壌をもたらした川を何という？

1. チグリス川                      2. ユーフラテス川                      3. ナイル川                      4. インダス川

問11 南アメリカのアンデス山脈で、マチュピチュを建設した巨大な帝国を何という？

1. アステカ帝国                      2. マヤ文明                      3. オスマン帝国                      4. インカ帝国

問12 漢の時代に開かれ、中国と西アジアや地中海地域を結んだ交易路を何という？

1. 香料の道                      2. 茶の道                      3. シルクロード                      4. 琥珀の道

問13 メソポタミア文明で発達した、月の満ち欠けに基づいて作られた暦を何という？

1. グレゴリオ暦                      2. 太陽暦                      3. ユリウス暦                      4. 太陰暦

問14 甲骨文字が変化し、現代の中国でも使用されている文字の体系を何という？

1. 仮名                      2. ヒエログリフ                      3. 楔形文字                      4. 漢字

問15 中国文明が発展した、中国北部を流れる川の名前を何という？

1. ガンジス川                      2. メコン川                      3. 長江                      4. 黄河

問16 メソポタミア文明において、粘土板に刻まれるために発明された文字を何という？

1. ヒエログリフ                      2. フェニキア文字                      3. アルファベット                      4. くさび形文字

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 くさび形文字	くさび形文字は、柔らかい粘土板の上に、先をとがらせた葦（あし）を使って押し付けるように刻んだ文字です。その形が「くさび」に似ていることからそう呼ばれます。王の記録や法典、経済取引など、文明の基盤となる情報がこの文字で記されました。
問2	答え 1 楔形文字	葦のペンを粘土に押し付けると三角形の跡がつくため、それが「くさび」の形に見えることからこの名がつけられました。
問3	答え 3 漢字	殷の時代に使われた「甲骨文字」は、後の時代に書写しやすい形へと変化しました。これが中国大陸で発展し、「漢字」として定着しました。漢字は形や音だけでなく、意味も伝えることができる優れた文字体系であり、東アジア全域に広まりました。
問4	答え 2 ムハンマド	ムハンマドは、唯一神アッラーの啓示を受けたとされ、偶像崇拜を否定し、神の前での平等を説きました。メッカの支配層から迫害を受けましたが、メディナへ移住して勢力を拡大し、ついにメッカを征服しました。彼の言動や教えは聖典『コーラン』にまとめられています。
問5	答え 3 60進法	60という数字は割り切れる数が多く、分割や計算に非常に便利であったため、この計算法が発達しました。この知恵によって月の満ち欠けを元にした太陰暦が作られ、暦の基礎が整えられました。
問6	答え 2 青銅器	青銅器は、銅と錫の合金を型に流し込んで作られた道具で、当時の王が権威を示す祭祀用の器として重宝されました。同時に、神への問いかけを亀の甲羅や牛の骨に刻んだ「甲骨文字」が使用され、これがのちの漢字の源流となりました。
問7	答え 1 縄文土器	縄文土器は、縄目の模様（縄文）が特徴で、植物の採集や狩猟、漁労を中心とした生活の中で用いられました。分厚くて丈夫なのが特徴で、食料を煮たり蓄えたりするために使われました。
問8	答え 2 メッカ	商業活動の中でさまざまな価値観に触れたムハンマドは、メッカでイスラム教を説き始めました。しかし、既存の偶像崇拜を否定したため、有力者から弾圧を受けることとなります。その後、ムハンマドは拠点をメディナへ移して勢力を蓄え、再びメッカを無血開城して聖地と決めました。
問9	答え 2 下水道	都市には住宅から汚水を流すためのレンガ造りの下水道が完備されていました。これは紀元前の文明としては極めて珍しく、当時の人々の衛生意識の高さと優れた土木建築技術を示しています。
問10	答え 3 ナイル川	ナイル川は毎年決まった時期に定期的な氾濫を繰り返し、そのたびに下流域に肥沃な土壌を運びました。人々はこの恵みを利用して農耕を行い、食料を確保することで高度な文明を築くことができました。
問11	答え 4 インカ帝国	15世紀から16世紀にかけて繁栄しました。文字を持たない代わりに「キブ」と呼ばれる結び目のついた紐で数字や情報を記録し、広大な領土を統治しました。マチュピチュは標高2400メートルの山頂に築かれた都市で、その精巧な石積み技術は現代でも世界中で驚かれています。
問12	答え 3 シルクロード	シルクロードは、中国の絹がローマ帝国などへ運ばれたことから名付けられました。この道を通じて、絹だけでなく貴重な工芸品や貴金属、さらには仏教やイスラム教といった宗教、天文学や医学といった知識も盛んに交換されました。
問13	答え 4 太陰暦	月が満ちてから欠けて再び満ちるまでの周期を約29.5日とし、12か月で1年とする暦です。また、60を基準とする60進法もあわせて発展しており、現在でも1時間=60分、1分=60秒という時間の数え方として私たちの生活に深く定着しています。
問14	答え 4 漢字	漢字は、象形文字から派生した表意文字です。秦の始皇帝による文字の統一を経て、書体が整えられました。数千年にわたり、歴史的な記録や文学、法律などの記述に使われ、東アジアの文化圏において中心的な役割を担いました。
問15	答え 4 黄河	黄河は、その名のとおり黄色い土（黄土）を運び、川の下流に広大な平野を形成します。この土地は作物を育てるのに非常に適しており、紀元前から多くの人々が集まって定住しました。これが中国文明の始まりとなり、農耕社会が形成されました。
問16	答え 4 くさび形文字	柔らかい粘土板の上に、葦の茎などを削って作ったペンで押し付けるように書いていたため、線がくさび（木のくさび）のように見えたことからこの名がつけられました。当初は絵文字から発展しましたが、次第に抽象的な符号へと変化しました。